



時間に余裕をもとう!

本日12日(木)は、ムラサキ朝会でした。私の方からは次のような話を子供たちにしました。7月に時間について話をしましたので、先ずはそのことを思い出してもらって、「全ての人に平等に与えられているものは『時間』である」「『時間』には限りがあるし、『時間』は戻す事ができない」ということを話しました。そして、今月の生活目標が「3分前に行動して、時間によゆうをもとう」ですので、3分間でできることを考えてもらいました。子供からは「次の時間の準備をすること」「ほうきで落ち葉を掃くこと」「日直の仕事で、黒板を消したり黒板消しをきれいに行ったりすること」などの声が聞かれました。実は、この自分でできる3分間を考え、体感することが実感を伴う行動目標に繋がると考えます。私も実際に、3分間で校内を歩くことができる距離を計ってみました。すると、校長室から3階に上がって、校内を一周して一階に下りて来て校長室に戻るまでが3分間でした。このように、自分を知らることが時間に余裕をもつことになりそうです。

この3分間という時間ですが、1年生は一年間に900時間くらいの授業や行事があります。それに3分間をかけると、2676分となり、時間に直すと約44時間30分となります。また高学年では、54時間30分間という時間となり、6年間分積み重なると、303時間、これは12.6日間分となります。そういうことから子供たちには、時間を意識して、よりよい時間の使い方をして欲しいと思います。

最後に子供たちに話したのは、「時間は平等に与えられるが、結果は平等ではない。」「いい結果を残すために、目標・めあてをもって行動しよう」ということです。時間をどう使うか、自分にどのような課題があるのか、それに対してどのような目標・めあてを立て、どのように行動するのかが、子供たちの人生はより豊かになると考えます。

朝会で話をした後、1年生の子供たちは、縄跳びで3分間にどれだけ跳べるのかを数えたそうです。体感を伴って、時間の概念を獲得していき、そのことを様々な生活場面に生かして欲しいと思います。

自分の中の3分間を知ろう!

- ▶ 校内のどの辺りから移動すれば、時間に余裕が生まれるのか!
- ▶ 何をしているときに3分間かかるか!

1月の生活目標

3分前に行動して、時間によゆうをもとう

- ▶ 3分間で自分にできることを探そう!
- 何問計算問題ができるか?
- 何文字漢字を覚えることができるか?
- 何回なわ跳びがとべるか?
- 何人のお友達のいいところを言えるか?

よりよい時間の使いかた!

- ▶ 時間は平等に与えられるが、結果は平等ではない。
- ▶ せっかくなら目標・めあてをもって、行動しよう!